

1. クラスターCの与条件

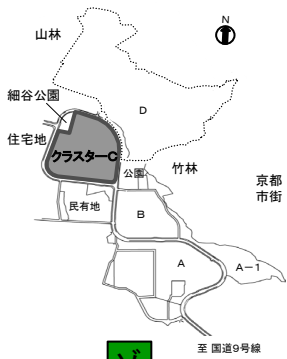
与条件の整理

①敷地条件、法的規制

細谷公園の位置変更、地区計画(H=15m、建ぺい率35%)の策定、住宅地と自然に囲まれた高低差25mの傾斜地

②周辺住民への配慮

プライバシーの確保、景観への配慮、住宅地と自然に囲まれた風景との調和



2. クラスターCの設計コンセプト

人にやさしい、自然にやさしい建築

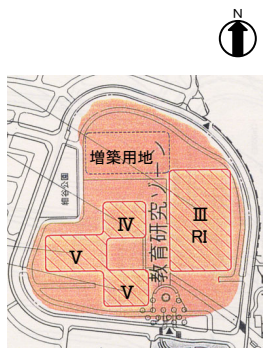
①周辺住民への配慮

・建物を小さなボリュームに分割し、大きな壁面をつくらないようにする。
・大型実験室を住宅地側の地下に埋め、屋上緑化を図ることにより、壁面後退距離を大きく見せる。

・縦横の隣棟間隔を広くとることによって、視界が通るように計画する。
・住宅地側に大きな緑地ゾーンを確保し、遊歩道兼メンテナンス道路を設ける。
・周辺道路の高低差に合わせて、建物の高さを抑え、景観に配慮する。

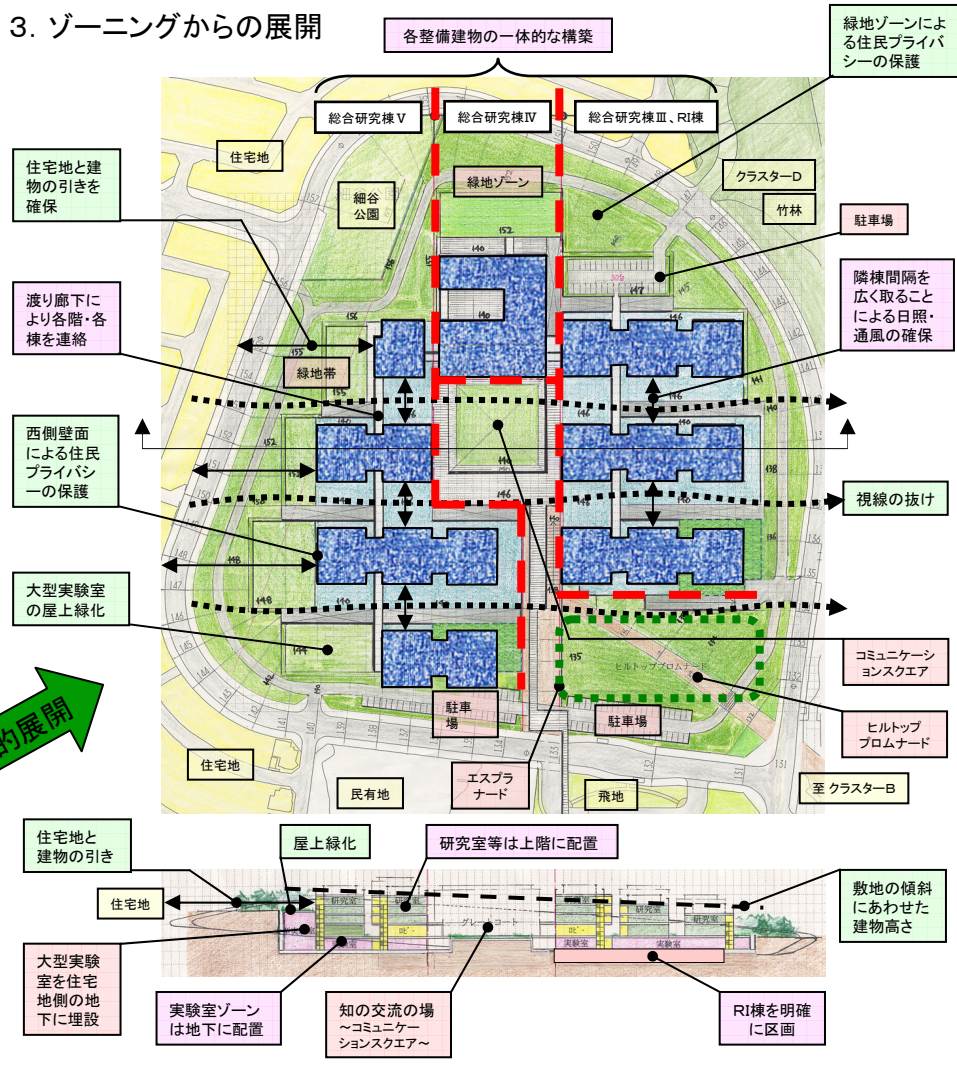
②その他

・実験室(ヘビーなゾーン)を地下に、居室的な教官室・研究室(ライトなゾーン)を上階に配置し、断面的にゾーニングする。
・南東側に増築スペースを確保する。



ゾーニング(長期計画書より抜粋)

3. ゾーニングからの展開



具体的展開

